

ポスター発表

発表時間 奇数番 3月24日(日) 12:00～12:45
偶数番 3月24日(日) 12:45～13:30

果 樹

- P001 法面のある階段畑におけるウンシュウミカンの高品質果実生産 ‘シールドイング・マルチ栽培’ (S. マルチ) の有効性と技術改良
○松下竜一¹・佐藤景子²・朝隈英昭¹・岩崎光徳² (¹ 福岡県農林総試,² 農研機構果茶研)
- P002 少雨環境下における S. マルチの品質向上効果と経営評価の実証
○高橋知花¹・岩崎光徳²・笹山新生¹・岡田聡一郎¹ (¹ 愛媛農研果樹研セミかん研,² 農研機構果茶研)
- P003 マルチシートの物理特性がカンキツ類の生育に及ぼす影響 (第2報)
○國賀武 (農研機構西日本農業研究センター)
- P004 ウンシュウミカンにおける水ストレス付与時期とキクミカン発生の関係
○奥田均 (三重大院生物資源学研究所)
- P005 極早生ウンシュウミカン ‘YN26’ における日焼け果対策
○中谷章・小澤萌香・松本大 (和歌山県果樹試験場)
- P006 静岡県におけるウンシュウミカン収量と気象の関係性および三ヶ日地域における着花年次変動指数の分布
○山家一哲・海野遊人 (静岡農林環境専門職大短大)
- P007 夏季のミストおよびかん水処理がユズの光合成速度に及ぼす影響
○浜田和俊・正岡令奈 (高知大農林海洋科学部)
- P008 音響振動法と近赤外分光法によるカンキツのす上がり判別における機械学習の活用
出水明日香¹・○長坂京香¹・中野龍平¹・竹岡賢二²・柳本裕子²・金好純子²・牧隆宏¹・木下有羽¹・村田和樹¹・井上博茂¹・
岩橋優¹・中崎鉄也¹ (¹ 京都大院農学研究科,² 広島総研農技セ)
- P009 カンキツ ‘せとか’ のとげの短い変異体の選抜
○山ノ内宏昭¹・土師岳²・間瀬誠子³ (¹ 農研機構作物研,² 農研機構管理本部,³ 農研機構果茶研)
- P010 ロングリードシーケンスから予測遺伝子配列をフェーシングするソフトウェア AlleleMiner の開発
○桐生適誠¹・川原善浩²・遠藤朋子³・堀池徳祐¹・白澤健太⁴・磯部祥子⁴・島田武彦³・藤井浩¹
(¹ 静岡大学農学部,² 農研機構高度分析研究センター,³ 農研機構果樹茶業研究部門,⁴ かずさ DNA 研究所)
- P011 ブドウ ‘シャインマスカット’ の短梢栽培における葉の発達と果実の成熟に及ぼす摘心の影響
○諏訪光太¹・池田裕樹²・井上栄一³・山根健治² (¹ 東京農工大院連合農学研究科,² 宇都宮大農学部,³ 茨城大農学部)
- P012 ブドウ ‘シャインマスカット’ の一文字短梢剪定における樹体生育や果実品質に及ぼす台木の影響
○塩谷諭史¹・宇土幸伸¹・桐原峻¹・里吉友貴² (¹ 山梨県果樹試験場,² 山梨県峡東農務事務所)
- P013 深層学習を用いた画像解析によるブドウの葉面積指数推定
○杉山洋行・宮部理子 (富山農林水産総合技セ園研セ果研セ)
- P014 果皮ごと食べられるニュージーランド産 ‘巨峰’ の果実品質について
○山下裕之・大場修・小泉慎・鎗木裕介・中野絵里・佐藤来弥・加賀山敬之・小林健太・小林未侑・岩倉昂大・高橋望・
福島あゆみ ((株) GREENCOLLAR)
- P015 遠赤色光の放射照度がブドウ ‘デラウェア’ の新梢生育および気孔密度に及ぼす影響
○梅野康行・持田圭介 (島根県農業技術センター)
- P016 イソプロチオランはブドウの果実成熟における内生 ABA および IAA を制御する
○富山博之¹・Pan, Yishan²・齋藤隆徳²・大川克哉²・小原均³・近藤悟²
(¹ 東農大農学部,² 千葉大院園芸学研究科,³ 千葉大環境健康フィールド科セ)
- P017 岡山県モモ主要5品種における開花期前後の凍霜害危険度予測モデルの検討
○吉村諒介・樋野友之・鶴木悠治郎・佐々木郁哉・藤井雄一郎 (岡山農研)
- P018 土壌改良がモモの花芽の凍害発生危険温度に及ぼす影響
○堀井幸江¹・山内大輔²・吉田谷菜々美²・宮下博行²・井上博道¹ (¹ 農研機構果茶研,² 石川県農林総セ)
- P019 柔らかくなる硬肉モモ品種 ‘甲斐トウモロコシ 17’ および同タイプの実生の果肉褐変の特徴とその要因
○山下路子¹・秋山友了²・新谷勝広¹ (¹ 山梨果樹試,² 東京農総研セ)
- P020 モモのはく皮性に及ぼす果実硬度の影響
○新谷勝広¹・山下路子¹・秋山友了² (¹ 山梨果樹試,² 東京農総研セ)

- P021 晩生モモ‘白皇’における音響振動法による果実硬度の把握と収穫時期の予測
○向井琉晴¹・畠山翔²・猪原豪¹・河井崇¹・平野健¹・福田文夫¹
(¹ 岡山大学院環境生命自然科学研究科, ² 岡山大学農学部)
- P022 *melting flesh* (M) 遺伝子座に着目した極晩生モモ‘冬桃がたり’およびそのF1後代における果実軟化特性の比較(第2報)
○安部雅治¹・林優月¹・小坂勇貴¹・中野龍平²・牛島幸一郎¹・福田文夫¹・河井崇¹
(¹ 岡山大学院環境生命自然科学研究科, ² 京都大学農学研究科)
- P023 部分最小二乗回帰プログラムを用いたウメ‘南高’花芽の休眠期における低温感受相推定
○北村祐人¹・柏本知晟²・山根久代³ (¹ 摂南大学農学部, ² 和歌山果樹試うめ研, ³ 京都大学農学研究科)
- P024 S-RNase 結合 DNAJ 様タンパク質の機能評価
○松本大生¹・田尾龍太郎² (¹ 福井県大生物資源学部, ² 京都大学大学院農学研究科)
- P025 Effect of pistil extracts on in vitro pollen tube behavior in compatible and incompatible combinations in apple cultivars
○胡畔¹・星野洋一郎² (¹ 北海道大環境科学院, ² 北海道大北方生物圏フィールド科学セ)
- P026 ジベレリン散布によるリンゴの花成抑制が摘果時間と果実品質に及ぼす影響
○沢井伶¹・北本尚子²・吉田康徳²・神田啓臣²・今西弘幸³
(¹ 秋田県大生物資源科学研究科, ² 秋田県大生物資源科学部, ³ 秋田県大アグリイノベーション教育研セ)
- P027 *Malus hupehensis* における相転換と花芽分化の分子機構に関する研究
○長田実優¹・伊藤尚子¹・小森貞男²・渡邊学²・西山学¹・金山喜則¹・加藤一幾¹
(¹ 東北大学農学研究科, ² 岩手大学農学部)
- P028 大気圧コロナ放電イオン化質量分析によるリンゴ発散香气成分のプロファイリング
○錦戸悠斗¹・花田俊男²・白武勝裕³・関本奏子¹
(¹ 横浜市立大学院生命ナノシステム研究科, ² 農研機構果茶研, ³ 名古屋大学院生命農学研究科)
- P029 属間交雑によるナシ属の多様な遺伝的背景のリンゴへの導入
○森本拓也¹・植崎龍矢¹・岡部洋明¹・章魯閏¹・小西剛²・長坂京香²・中野龍平²・板井章浩¹
(¹ 京都府立大学院生命環境科学研究科, ² 京都大学農学研究科)
- P030 ニホンナシ×イワテヤマナシ交雑後代における果実の内生香氣の官能評価およびQTL解析によるモモ様香氣関連遺伝子の探索
○中堀貴裕¹・長谷川海¹・鈴木光弘²・片山寛則² (¹ 神戸大学農学研究科, ² 神戸大学農学研究科食資源センター)
- P031 ニホンナシ新品種‘ゆつみ’
○高田教臣・西尾聡悟・齋藤寿広・澤村豊・加藤秀憲・平林利郎・佐藤明彦・寺上伸吾・竹内由季恵・今井篤・土師岳・尾上典之(農研機構果茶研)
- P032 アセトンを使用する純花粉精製機の開発
○大崎久美子¹・野波和好¹・井堀野実¹・湯浅実夢¹・竹村圭弘¹・五十嵐正和²
(¹ 鳥取大学農学部, ² 菱農エンジニアリング(株))
- P033 果樹類白紋羽病の診断法「枝挿入法」への深層学習による画像識別の応用
○大迫祐太郎¹・高野史香¹・松岡つぐみ¹・近藤賢一² (¹ 信州大学農学部, ² 長野南信農試)
- P034 わい性台木‘FDR-1’の中間台利用によるカキ苗の効率的生産方法
○朝隈英昭・田中莉依・松本和紀・四宮亮(福岡農林総試)
- P035 収穫前のエセフォン処理が‘田中’果実の抗酸化性に及ぼす影響
○小原均¹・Traiswan, Nareenart²・中後貴寛³・齋藤隆徳⁴・大川克哉⁴・近藤悟⁴
(¹ 千葉大環境健康フィールド科セ, ² 千葉大学園芸学研究科, ³ 千葉県農林総研セ暖地園研, ⁴ 千葉大学園芸学研究院)
- P036 ハイパースペクトルイメージングを用いたブルーベリー果実の非破壊品質評価
○今井美里・山根久代・西山総一郎・田尾龍太郎(京都大学農学研究科)
- P037 サザンハイブッシュブルーベリー‘Bluecrisp’における夏秋季開花性の樹体間差と夏秋季開花する新梢の特性
○渡邊学¹・鈴木雄貴¹・吉田晴香¹・村上政伸¹・小森貞男²
(¹ 岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研セ, ² 岩手大学農学部)
- P038 Comparative expression analyses of phytohormone biosynthesis-related genes in fruits of two blueberry cultivars
○Bao, Yuning¹・山根久代¹・Li, Taishan^{1,2}・田尾龍太郎¹ (¹ 京都大学農学研究科, ² 中国鄭州果樹研究所)
- P039 二季成りラズベリー‘NR-31-23’および‘NR-31-36’の育成経過と特性
○山口正己¹・藤澤弘幸²・石川一憲²・馬場正² (¹ 所属なし, ² 東京農業大学)
- P040 キウイフルーツ‘ヘイワード’の開花期予測方法の開発
○杉浦裕義¹・岡田雅道²・宮田信輝² (¹ 農研機構果茶研, ² 愛媛果樹研セ)
- P041 マタタビにおける“ネコのマタタビ反応”の原因成分の蓄積・放出機構の解明
○有瀧慎太郎¹・西川俊夫¹・宮崎雅雄²・上野山怜子²・関本奏子³・白武勝裕¹
(¹ 名古屋大学大学院生命農学研究科, ² 岩手大学農学部, ³ 横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科)

P042 パインアップルの育種集団を利用したゲノムワイド関連解析

○奈島賢児¹・大嶺悠太²・白澤健太³・佐藤健志¹・桐山竣太郎¹・山田昌彦¹・竹内誠人²・正田守幸²
(¹ 日本大生物資源科学部, ² 沖縄農研セ名護, ³ かずさ DNA 研)

野菜

P043 イチゴの培養液濃度が全窒素濃度と分配率に与える影響

○小田原昂熙・岩崎泰永 (明治大学農学部)

P044 イチゴの NFT 式水耕栽培で起こりやすい生育不良の原因についての考察とその対策

○今村仁・壇和弘 (農研機構九州農研)

P045 イチゴ液体培養苗を利用した水耕栽培への導入および花芽分化条件の確立

○小山竜平・若江亮平・寺原奈穂・宇野雄一・金地通生 (神戸大院農学研究科)

P046 発表取り消し

P047 東京型の環境制御生産システムによるイチゴ栽培技術の実証

○小林孝至¹・野口貴¹・鈴木克彰²・中村圭亨¹ (¹ 東京農林総研セ, ² 東京島しょ農林水セ)

P048 多雪地域における化石燃料を使用せず地中熱・空気熱ハイブリッドヒートポンプシステムのみで暖房した温室の CO₂ 排出量とエネルギー消費量

○遠藤昌伸¹・種村竜太¹・上田真典^{2,3}・桑原賢二^{2,4}
(¹ 新潟県農総研園研セ, ² 新潟県地中熱利用研究会, ³ (株) コロナ, ⁴ (株) 興和)

P049 愛知県内主要イチゴ4品種における株当たりの CO₂ 吸収能力の推定

小野拓生¹・山本滉樹人²・○藤原亜衣¹・大川浩司¹・田中哲司¹ (¹ 愛知農総試, ² 高圧ガス工業 (株))

P050 MALDI TOF-MS imaging で可視化したイチゴ果実の糖および有機酸分布における品種間差

○藤木卓巳¹・岩渕恵佑²・熊谷太司¹・実山豊¹・鈴木卓¹ (¹ 北海道大院農, ² ホクサン (株))

P051 イチゴ果実の香りに多様性を生み出すエステル合成酵素遺伝子の機能解析

○上吉原裕亮^{1,2}・宮川陽太²・水野真二^{1,2}・渡辺慶一^{1,2}・立石亮^{1,2}
(¹ 日本大生物資源科学部, ² 日本大院生物資源科学研究科)

P052 プラズマ活性液によるイチゴの内生植物ホルモン変動及び抗酸化応答並びに耐病性誘導

○酒井花桜里¹・松原陽一²・橋爪博司³・田中宏昌³・豊國伸哉^{3,4}・堀勝³ (¹ 岐阜大院自然科学技術研究科, ² 岐阜大応用生物科学部, ³ 名古屋大低温プラズマ科学研究センター, ⁴ 名古屋大院医学系研究科)

P053 交配によって作成した、雌花を分化する雄性両性同株型キュウリ系統に見いだされた雄性不稔個体の解析

○山崎聖司・田中達也 (福岡教育大教育学部)

P054 寒冷地におけるきゅうりハイワイヤーつる下ろし長期栽培の生育特性

○中村太紀・赤坂尚生 (岩手県農業研究センター県北農業研究所)

P055 キュウリ養液栽培における培地の太陽熱消毒が生育と収量に及ぼす影響

○種村竜太・堀川拓未・遠藤昌伸・相川敏之 (新潟農総研園研セ)

P056 メロン果実外観形質の QTL 解析 (第3報)

○藤井智教¹・白澤健太²・大寺宇織¹・石川友子¹ (¹ 茨城農総セ生工研, ² かずさ DNA 研)

P057 メロンの品種と香气成分の特徴

○田中福代¹・大寺宇織²・大槻和弘²・葛谷真輝² (¹ 農研機構分析研, ² 茨城県生工研)

P058 低濃度オゾン水処理がトマト実生苗の遺伝子発現に及ぼす影響

○反田絢也・高橋菜央子・西山学・金山喜則・加藤一幾 (東北大院農学研究科)

P059 トマトの単為結果性遺伝子 *pat-2* の導入系統で観察された多面効果の制御領域の同定

○門宏城・滝澤理仁 (龍谷大学大学院農学研究科)

P060 トマトの養液栽培における肥料濃度の違いが乾物分配と食味に及ぼす影響

○俵茉那 (明治大学農学部)

P061 トマトの果実肥大特性に関する研究

○鈴木康洋¹・梅林利弘²・神田啓臣²・今西弘幸³・北本尚子²・大原紅太³・菅原和子³・吉田康徳²
(¹ 秋田県大生物資源科学研究科, ² 秋田県大生物資源科学部, ³ 秋田県大アグリイノベーション教育研究セ)

P062 側枝を利用した茎数増加および環境制御がミニトマトの収量に及ぼす影響

○郷原優・椋重芳 (島根県農業技術センター)

P063 数種の液肥資材の施用がベランダ栽培を想定した悪条件下で栽培した果菜類の収量および生育に及ぼす影響

○田中陸斗¹・吉田泰²・坂田渉²・元木悟³ (¹ 明治大院農学研究科, ² (株) サカタのタネ, ³ 明治大農学部)

P064 トマト無培地循環養液栽培における側枝2本仕立ての摘心時期の違いが収量、品質に及ぼす影響

○坂口良介・関海優・荒川博 (静岡県立農林環境専門職大学短期大学部)

- P065 Effects of stem training direction and Ca spray on BER incidence, yield and fruit qualities in processing tomatoes (*Solanum Lycopersicon* L.)
○ Mashwani, Shamal Khan¹・Endo, Mai²・Sezaki, Atsushi²・Ohta, Katsumi¹ (¹ 島根大院自然科学研究科, ² 島根大生物資源科学部)
- P066 施設ミニトマト栽培におけるサーモグラフィカメラデータによる温度制御について
郷原優¹・椋重芳¹・弓谷賢二²・○藤原慶太² (¹ 島根県農業技術センター, ² (株) オムニア・コンチェルト)
- P067 多点計測手法を活用したハウス内環境の温度むらと冬春ミニトマトの生育むらの改善
○岡田幸泰¹・西村靖彦¹・西澤博之¹・長屋浩治²・末益慎司³・平松志歩³ (¹ トヨタテクニカルディベロップメント株式会社, ² 愛知県農業総合試験場普及戦略部技術推進室, ³ 愛知県東三河農林水産事務所農業改良普及課)
- P068 トマト果実径の経時測定データを用いた収穫時1果重予測技術の開発
○高橋正明¹・河崎靖¹・内藤裕貴^{1,2}・リウンソク¹・吉鴻一¹ (¹ 農研機構ロボ研, ² 東京大院農学生命科学研究科)
- P069 中玉トマト果汁のGABA含有量を推定する検量線作成方法の検討
○田島万穂路¹・柳瀬恵²・大石直記¹・二俣翔¹・山際豊¹・前島慎一郎¹ (¹ 静岡農林技研, ² 静岡県農芸振興課)
- P070 Ca²⁺ センサ GCaMP6 を利用したトマト果実の発育に影響を及ぼす諸要因の解析
○原田龍之介¹・栗原大輔^{2,3}・西山学¹・加藤一幾¹・金山喜則¹
(¹ 東北大院農学研究科, ² 名古屋大トランスフォーマティブ生命分子研, ³ 名古屋大高等研究院)
- P071 午後的高温がトマト果実へのスクロース転流速度に及ぼす影響
○秋山光雅・今原淳吾 (静岡農林技研)
- P072 トマトにおける茎へのリングング処理が小葉基部の葉柄組織からのダイレクトシュート発生に及ぼす影響
○伊達修一・八尾佳鈴・西島隆明 (京都府大院生命環境科学研究科)
- P073 トマト果実の皮の食感かたさに関わる解剖学的特性と培養液成分
○峯洋子・今西志帆・内田帆波 (東京農業大)
- P074 世界のナス・コアコレクションを用いた果実物性の多様性に関する予備的調査
○瀬上修平 (大阪環農水研)
- P075 Effect of silver nitrate and temperature treatments on anther culture response of the male fertile lines in three CMS systems of eggplant
カーンモハマド ミザヌラヒム¹・嬉野健次¹・○一色司郎² (¹ 琉球大学農学部, ² 佐賀大学農学部)
- P076 液肥の種類が高機能バイオ炭で育苗したナス苗の生育に及ぼす影響
○熊崎忠¹・園田星¹・田中尚美¹・望月隆行²・河邊英司²・柴田博範²・西田亮也¹ (¹ (株) TOWING, ² JA あいち経済連)
- P077 群馬県における夏秋ナスの整枝が果実の収量及び品質に及ぼす影響
○山崎貴斗¹・倉澤政則¹・小野関貴行²・猿谷花恵²・田島聡緑²・柳澤幸雄²・川島正俊²・大塚将悟²・山田文典²・土肥千夏¹・橋田庸一¹・廣瀬竜郎¹・岡部蘭子¹ (¹ 高崎健康福祉大学, ² 群馬県農政部)
- P078 人工光下で栽培された遺伝子組換えナス果実におけるβ-カロテンの高蓄積
○山本涼平¹・樋口誠悟¹・岩田雄二²・武田恵美³・小泉望²・三柴啓一郎¹
(¹ 龍谷大農学部, ² 大阪公立大院農学研究科, ³ 大阪公立大院理学研究科)
- P079 異なる光質のLED人工光源が育苗期のピーマン生育に与える影響
○張顧良・杉田亘 (南九州大学)
- P080 ピーマンの花数・実数画像認識AIの検出精度の検証
○筒井真璃菜¹・松本貴也²・篠田翔真¹・橋本明広¹・谷内弘道³・山崎浩実¹
(¹ 高知県農業技術センター, ² 合同会社 Office asoT, ³ 高知県農業担い手育成センター)
- P081 アスパラガスの根株がネコブセンチュウ類の密度およびピーマンの初期生育に及ぼす影響
○加川歩実¹・樋口洋子²・山下紗佳³・元木悟¹ (¹ 明治大農学部, ² 茨城農総セ鹿島地帯特産指導所, ³ 明治大院農学研究科)
- P082 トウガラシ (*Capsicum annuum*) のCaCKII変異遺伝子による種なし果実の大型化を誘導するQTLの探索
○牧隆宏¹・西村和紗²・大野翔¹・中野龍平¹・田中義行¹・中崎鉄也¹
(¹ 京都大院農学研究科, ² 岡山大院環境生命自然科学研究科)
- P083 *Capsicum* 種間交雑で生育異常を引き起こす *C. annuum* 側の候補遺伝子の特定
○岸麻理奈¹・白澤健太²・倉田大地¹・山崎彬¹・細川宗孝^{1,3}
(¹ 近畿大院農, ² かずさDNA研, ³ 近畿大アグリ技研 (ATIRI))
- P084 単為結果と果実肥大期の干ばつストレスが‘ししとう’ (*Capsicum annuum*) の辛味変動に与える影響
○新谷慎太郎¹・近藤文哉^{2,3}・根本和洋⁴・松島憲一⁴
(¹ 信州大院総合理工学研究科, ² 信州大院総合医理工学研究科, ³ 日本学術振興会特別研究員, ⁴ 信州大学術研究院 (農))
- P085 トウガラシの曲がり果の発生に関わる果実内要因の探索
○芳川瑞希¹・糸賀花恋²・江角智也² (¹ 松江北高校, ² 島根大生物資源科学部)
- P086 トウガラシ花粉の最適な採取方法および保存方法の検討
○新倉瑞基・阿久津雅子 (信州大学大学院総合理工学研究科)
- P087 シシトウの単為結果果実における果実発育と辛味との関連性
○村上賢治・中村優太 (石川県立大学生物資源環境学部)

- P088 画像認識技術とロボットアームを併用した多目的除草システムの開発
○熊谷和樹・谷口大基・後藤丹十郎・元木航・吉田裕一・安場健一郎（岡山大学大学院 環境生命科学研究科）
- P089 岡山県の準高冷地での夏秋どりキャベツの育苗における液肥回数と日数が定植後の葉の枯れに及ぼす影響
○佐野大樹（岡山農研）
- P090 アントシアニン着色形質を導入した黒皮系「出雲おろち大根」の特性評価
○河原舜¹・中務明²・小林伸雄²（¹島根大院自然科学研究科,²島根大生物資源科学部）
- P091 有効気温積算値に基づく生育モデルによるハクサイおよびダイコンの出荷予測の検討
○栗田聡子・長田仁志（茨城県農業総合センター園芸研究所）
- P092 9月播種の冬どりダイコンにおける株間の違いを考慮した収穫予測モデルの構築
○小林孝太郎・桑田主税（千葉県農林総合研究センター）
- P093 ペラルゴニジン色素を有する赤色ナバナの選抜と育成について
○執行俊輔¹・中務明²・小林伸雄²（¹島根大院自然科学研究科,²島根大生物資源科学部）
- P094 プラズマ照射水がコマツナの生育および抗酸化能に及ぼす影響（第2報）
○肖凌冉¹・高島圭介²・金子俊郎²・千葉一美³・西山学¹・高橋英樹¹・金山喜則¹・加藤一幾¹
（¹東北大院農学研究科,²東北大院工学研究科,³東北大未来科技共同研セ）
- P095 茎ブロッコリー品種「スティックセニョール」における摘心による生育、収量および根の形態の経時的変化
○佐竹文¹・元木悟²（¹明治大院農学研究科,²明治大農学部）
- P096 ミズナにおける施肥量および灌水量の違いが茎葉の硝酸含量および硬度に及ぼす影響
○二見萌菜¹・佐藤来夢²・田中陸斗²・岩田柚香¹・佐賀愛美¹・元木悟¹（¹明治大農学部,²明治大院農学研究科）
- P097 KASP マーカーを用いたアスパラガスの雌雄性別
○菅野明・郝才郅（東北大学院生命科学研究科）
- P098 アスパラガス若茎の食物繊維成分の蓄積における栽培法・品種間差
○甲村浩之・柘植裕季葉・荻田信二郎（県立広島大学生物資源科学）
- P099 アスパラガス若茎におけるアントシアニンレス形質の遺伝様式について
○中村智哉¹・池内隆夫¹・尾崎行生²（¹香川農試,²九州大院農学研究科）
- P100 異なる栽培地におけるアスパラガスの1年養成株全収穫栽培法「ハウス採りっきり栽培」の現地実証試験
○山下紗佳¹・清宮花音²・田口巧¹・元木悟²（¹明治大院農学研究科,²明治大農学部）
- P101 アスパラガスの1年養成株全収穫栽培法「採りっきり栽培」における生分解性液状マルチが収量に及ぼす影響
○山藤香¹・山下紗佳²・鈴木海斗²・池島敏二³・池島孝宜³・宝龍^{1,4}・元木悟¹
（¹明治大農学部,²明治大院農学研究科,³トーテック（株）,⁴赤峰学院農学院）
- P102 アスパラガス改植法の検討（第6報）
○藤井詩乃・中村智哉・池内隆夫（香川農試）
- P103 越冬前のアスパラガス擬葉切除が貯蔵根のフルクタン含量とその代謝酵素遺伝子の発現に与える影響
○上野敬司・小野寺秀一・園田高広（酪農学園大学農食環境学群）
- P104 微生物資材がアスパラガスの主要病害の発病に及ぼす影響
○園田高広¹・大場清花¹・児玉不二雄²（¹酪農学園大学農食環境学群,²（一社）北海道植防）
- P105 寒冷地のタマネギ秋まき移植栽培において播種日を同一とした場合の定植日の違いが乾物重に及ぼす影響
○山内大輔・山本岳彦・木下貴文・室崇人（農研機構東北研）
- P106 タマネギ遺伝資源におけるケルセチン配糖体含量と収穫時形質との関係
○奥聡史・青木和彦・日浦聡子・室崇人・塚崎光（農研機構東北研）
- P107 ギョウジャニンニクの不定芽繁殖の特性
○田丸典彦¹・諫山邦子¹・渡辺剛志²（¹釧路野外教育研究会,²釧路短期大学）
- P108 施肥量がニンニク「太倉種」の球の形成に及ぼす影響
○村上裕一¹・中村智哉¹・中西充¹・川本雄大²・池内隆夫¹（¹香川農試,²香川県農業生産流通課）
- P109 遮光が温暖地におけるギョウジャニンニクの生存率および形態に及ぼす影響
鈴木海斗¹・○佐藤美杜²・佐藤来夢¹・二見萌菜²・元木悟²（¹明治大院農学研究科,²明治大農学部）
- P110 低シュウ酸形質に関与する潜性（劣性）突然変異遺伝子が導入された新規ホウレンソウ品種「まろみ」の特性評価
○畑直樹・藤分大弥（滋賀県立大環境科学部）
- P111 赤軸ホウレンソウの普及に向けた品種特性の把握
○佐賀愛美¹・佐藤来夢²・田中陸斗²・元木悟¹（¹明治大農学部,²明治大院農学研究科）
- P112 堆肥の種類、量および活性炭の施用がサンドイッチ法におけるレタスの幼根および胚軸の伸長に及ぼす影響
○増山帆乃香¹・田中陸斗²・宝龍^{1,3}・元木悟¹（¹明治大農学部,²明治大院農学研究科,³赤峰学院農学院）

- P113 レタスの3Dモデルによる葉の凹凸 (blistering) の数値化
○高地伸夫¹・林篤司¹・藤迫哲²・前田秀樹²・松下令美²・関山佳弘²・阿部陽介²・三國誉征²
(¹ 農研機構農業ロボティクス研究センター,² 農研機構種苗管理センター)
- P114 水素燃料電池小規模植物工場による店産店消 (第四報)
○鈴木廣志¹・石田健治²・岡部久子³・田畑和文⁴・服部洋子⁴
(¹ グリーンテック&ラボ株式会社,² 株式会社アグリ王,³ 株式会社東急ホテルズ,⁴ トヨタ紡織株式会社)
- P115 レタス植物工場における低濃度オゾン水導入の試み
○岡本堅喬・反田絢也・西山学・金山喜則・加藤一幾 (東北大学農学研究科)
- P116 北海道の冬期無加温栽培における画像解析を活用したリーフレタスの収穫適期の推定
○古山真一・堀川謙太郎・高濱雅幹 (北海道総研機構上川農試)
- P117 人工光源下および多湿環境での水産加工廃液の肥料利用がレタス類のチップバーン発生に及ぼす影響
○江口雅丈¹・林伯諺²・中村謙治²・北宅善昭¹ (¹ 大阪公立大研究推進機構,² エスベックミック (株))
- P118 シュンギクの種子発芽に及ぼす赤色 LED の照射および GA 処理の影響
○城守寛¹・太田原健二¹・藤原一道¹・金澤俊成² (¹ 岩手県立農業大学校,² 岩手大学教育学部)
- P119 ドローンセンシングを活用して圃場における立毛のニンジンの株立数を推定する手法の検討
○有馬秀和 (富山農総技セ園研)
- P120 小型容器と楕円フーリエ解析を用いたレンコンの形状評価手法の検討 (第3報)
永山誓史・柏木優・○大寺宇織・石川友子 (茨城県農業総合センター生物工学研究所)
- P121 異なる光強度がシーアスパラガス (*Salicornia europaea*) の挿し穂の光屈性に及ぼす影響
○峰大晴¹・越田薫子²・伊藤善一¹ (¹ 明治大農学部,² 明治大院農学研究科)
- P122 挿し穂の採取部位の違いがシーアスパラガス (*Salicornia europaea*) の挿し穂の発根および生育に及ぼす影響
○森開瑠¹・越田薫子²・伊藤善一¹ (¹ 明治大農学部,² 明治大院農学研究科)
- P123 数種の育苗法および直播がスイートコーンの生育および収量に及ぼす影響
○鈴木海斗¹・田中陸斗¹・吉田泰²・坂田渉²・元木悟³ (¹ 明治大院農学研究科,² (株) サカタのタネ,³ 明治大農学部)
- P124 温度処理と処理時期がツクネイモの新芋の形状に及ぼす影響
○吉田康徳¹・保坂美海¹・神田啓臣¹・今西弘幸²・北本尚子¹・梅林利弘¹
(¹ 秋田県大生物資源科学部,² 秋田県大学アグリイノベーション教育研セ)
- P125 ナガイモのポット栽培における施肥と灌水量が新イモの生長に及ぼす影響
○新井竜司・谷享 ((公財) 環境科学技術研究所)
- P126 北海道自生地における環境要因がアッケシソウ (*Salicornia* spp.) の生育に及ぼす影響
○西村美優¹・山本すず¹・越田薫子²・伊藤善一¹ (¹ 明治大学農学部,² 明治大院農学研究科)
- P127 摘心処理がオクラの地上部と地下部の生育および収量に及ぼす影響
○佐藤来夢¹・二見萌菜²・田中陸斗¹・佐賀愛美²・岩田柚香²・元木悟² (¹ 明治大院農学研究科,² 明治大農学部)

花 き

- P128 トルコギキョウ花卉へのエテホンおよびアスコルビン酸処理が種子生産性に及ぼす影響
○内田恭平¹・中田康貴²・金勝一樹²・山田哲也² (¹ 東京農工大学院農学府,² 東京農工大学院連農)
- P129 1-ナフチル酢酸とブトレシンの連続投与はキク挿し芽における不定根の成長を促進させる
○呂保鶴・今井章裕 (広島工大院工学系研究科)
- P130 クルメツツジ品種の花形態及び開花期の多様性
○秦瑞澤¹・石橋璃沙¹・田村美帆²・渡辺敦史² (¹ 九州大学大学院生物資源環境科学府,² 九州大学大学院農学研究科)
- P131 花型が *Limonium perezii* と *L. sinuatum* の種間交雑における交雑和合性に及ぼす影響
○森志郎¹・長沼未輝翔¹・岡本吉弘¹・八幡昌紀²・星野洋一郎³
(¹ 酪農学園大農食環境学群,² 静岡大農学部,³ 北海道大北方生物圏フィールド科学セ)
- P132 三系交配を利用したサキシマツツジとキレンゲツツジとの亜属間交配 (第2報 種子親に用いる常緑性種間雑種の緑色実生獲得に対する影響について)
○嬉野健次・東雅孝・河島 和輝・KhanMd. Mizanur Rahim (琉球大農学部)
- P133 クルメツツジ品種の起源の解明に向けた野生種との比較
○田村美帆¹・米戸心之輔²・黒安耕佑²・渡辺敦史¹ (¹ 九州大学大学院農学研究科,² 九州大学農学部)
- P134 ユリ類におけるシンクロトロン光照射による突然変異誘発
○坂本健一郎 (佐賀農試研セ)
- P135 異なる光強度下における数種のシバ類の生育と耐陰性の評価
○新澤毅彬¹・松田桃子²・長嶋豊之¹・大島梢¹・黒沼尊紀¹・渡辺均¹ (¹ 千葉大環境健康フィールド科セ,² 千葉大園芸学部)

- P136 シクラメンの葉の黄変とエチレン感受性における品種間差
○虎太有里¹・辻本直樹¹・印田清秀² (¹ 奈良農研セ, ² 奈良県北部農業振興事務所)
- P137 核および葉緑体 SSR 解析による西日本のヤマアジサイおよびその変種の遺伝的多様性の解明
○原田千二郎¹・山本将²・織田大輝³・新藤幸樹³・迫村崇史³・阿部裕汰³・堀田智輝³・川久保美瑠³・森本隼人²・半田高³
(¹ 明治大院農学研究科, ² 明治大研・知財戦略機構, ³ 明治大農学部)
- P138 観賞菊としての食用菊の花器の形質
○小笠原宣好・荒川玲美・永沢奈緒子 (山形大農)
- P139 模擬塩害土壌を用いたマツバギクの除塩能試験
○廣住豊一・岡田実姫 (四日市大環境情報学部)
- P140 コオニユリ (*Lilium leichtlinii*) の二倍体と四倍体における花粉の挙動の比較分析
○呂依丹¹・山岸真澄²・星野洋一郎^{1,3}
(¹ 北海道大環境科学院, ² 北海道大院農学研究科, ³ 北海道大北方生物圏フィールド科学セ)
- P141 ラナンキュラス「てまりシリーズ」の分枝性に関する研究 (第1報)
○浜田佳代子¹・遠藤 (飛川) みのり² (¹ 香川農試, ² 農研機構西農研)
- P142 サクラ「稚木の桜」と「ソメイヨシノ」の交雑後代実生における幼樹開花性 (第2報) - 採種同年秋季播種による促成栽培の試み
○江角智也¹・白澤健太² (¹ 島根大生物資源科学部, ² かずさ DNA 研)
- P143 カロテノイドを花弁に含有するラナンキュラス「てまりシリーズ」品種の花色・花色素発現
○高村武二郎・赤松若奈 (香川大農学部)
- P144 デルフィニウム品種の花の新規アントシアニン
○谷川奈津¹・瀬戸花香²・鈴木征爾³・大森彩華³・立澤文見³
(¹ 農研機構野花研, ² 岩手大農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研セ, ³ 岩手大農学部)
- P145 ラナンキュラス「てまりシリーズ」品種の花色および花色素発現に及ぼす高温の影響
○北村優渚・高村武二郎 (香川大農学部)
- P146 ピンク系トルコギキョウ「グラナスピク」の一番花と二番花のアントシアニンについて
○花田裕美¹・大江孝明²・谷川奈津³
(¹ 和歌山県農業試験場暖地園芸センター, ² 和歌山県農林水産総務課研究推進室, ³ 独立行政法人 農研機構野菜花き部門)
- P147 日本に自生するアジサイ野生種の装飾花における花色および色素構成特性の評価
○Jiang, Qingcheng¹・森本隼人²・半田高¹ (¹ 明治大農学部, ² 明治大研・知財戦略機構)
- P148 アジサイの花色と葉に含まれる色素関連成分の関係
○西川史¹・小玉雅晴¹・野田尚信² (¹ 栃木県農業試験場, ² 農研機構野菜花き研究部門)
- P149 フジ園芸品種の蝶形花における花色およびアントシアニン構成
○水ノ江雄輝¹・中野依里香²・宮島郁夫³・尾崎行生¹ (¹ 九州大院農学研究科, ² 九州大農学部, ³ 九州大熱研セ)
- P150 ペトレア (クマツヅラ科) の花から単離されたポリフェノール化アントシアニンとその他のフェノール成分
○秦奇¹・西川綾子²・立澤文見³・中根孝久⁴・岩科司⁵・水野貴行^{1,5}
(¹ 茨城大院農学研究科, ² 水戸市植物公園, ³ 岩手大農学部, ⁴ 昭葉大薬学部, ⁵ 国立科博植物研究部)
- P151 葉脈特異的なカロテノイド生合成抑制によるペチュニアの葉色の改変
○林建豪・大森由羽希・高橋さくら・鈴木栄 (東京農工大学大学院農学府)
- P152 アントシアニン着色変動性を示すトウガラシの花のトランスクリプトーム解析
○卯川亜美・田中義行・大野翔 (京都大院農学研究科)
- P153 斑点模様の花をもつペチュニア「ナイトスカイ」における small RNA のプロファイリング
○奥田渚・田中義行・大野翔 (京都大院農学研究科)
- P154 RNA-seq によるバラ品種「オレングスブラッシュ」の絞り模様形成機構の解析
○太田垣駿吾¹・濱松藍¹・石川綾乃¹・白澤健太²・磯部祥子² (¹ 名城大学農学部, ² かずさ DNA 研究所)
- P155 花色と香気成分が変化した芳香シクラメンの RNA-Seq 解析
○秋田祐介^{1,2}・渡邊暁¹・鈴木伽奈²・高橋暁基² (¹ 埼玉大院工学研究科, ² 埼玉大工学部)
- P156 ナデシコ属植物の春化応答に関わる FLC オルソログの解析
○八木雅史¹・小西晴香²・小野凌汰²・藤本龍²・岡本花弥²・小山竜平²・宇野雄一¹
(¹ 農研機構野花研, ² 神戸大院農学研究科)
- P157 北海道冬春期切り作型における LED 照射処理がカーネーション「ムーンライト」の生育および切り花品質に及ぼす影響
○山本理仁¹・古山真一²・菅原魁人³・森志郎¹
(¹ 酪農学園大農食環境学群, ² 北海道総研機構上川農試, ³ 北海道総研機構道南農試)
- P158 暖地作型のカーネーションにおける夏秋期の温度条件と採花本数との関係
○稲葉善太郎¹・藤井俊行²・地宗紀良³・水谷祐一郎⁴・東浦優⁵
(¹ 静岡県立農専大短大, ² 静岡農林研伊豆農研セ, ³ 愛知農総試, ⁴ 兵庫農総セ淡路農技セ, ⁵ 兵庫農総セ)

- P159 有効積算温度によるカーネーション花蕾の収穫予測
○満田祥平¹・西野勝¹・牛尾亜由子²・福田直子²・久松完² (¹兵庫農技総セ淡路,²農研機構野花研)
- P160 スイートピーの品種と定植時期の違いによる切り花本数および品質への影響
○田村瑞紗・中村広・日野宏俊 (宮崎県総合農業試験場)
- P161 湿度低下に伴うセントポーリアの光合成速度の不可逆的な低下
倉田大地¹・田淵悠大¹・山崎彬¹・細川宗孝^{1,2} (¹近畿大院農学研究科,²ATIRI)
- P162 休眠打破した球根への低温処理と萌芽後の炭酸ガス施用がオーニソガラム・シルソイデスの開花に及ぼす影響
○神田啓臣¹・富樫七星¹・三津谷日菜子¹・北本尚子¹・今西弘幸²・吉田康徳¹
(¹秋田県大生物資源科学部,²秋田県大アグリノベーション教育研究セ)
- P163 食品リサイクル堆肥の施用がフレンチマリーゴールドの成長と開花に及ぼす影響
○札埜高志^{1,2}・岡田淳史³・木村保³・中瀬浩太⁴・前田泰芳⁴・大藪崇司^{1,2} (¹兵庫県立淡路景観園芸学校,
²兵庫県大院緑環境景観マネジメント研究科,³三木バイオテック株式会社,⁴五洋建設株式会社)
- P164 間欠冷蔵処理がエラータム系デルフィニウムの一の花および二の花の切り花形質に及ぼす影響の品種間差
○河合実花・北村嘉邦・安場健一郎・吉田裕一・後藤丹十郎 (岡山大院環境生命自然科学研究科)
- P165 スポットクーラーを用いた根域冷却装置がミニシクラメンの開花に及ぼす影響
○東浦優¹・水谷祐一郎²・松浦克彦¹ (¹兵庫県立農林水産技術総合センター農業技術センター,
²兵庫県立農林水産技術総合センター淡路農業技術センター)
- P166 ディープリナーニングを用いた花卉栽培の種植えの自動化手法の検討
○大久保友弘¹・奥山彫夢² (¹木更津高専制御・情報システム工学専攻奥山研究室,²木更津高専電子制御工学科)
- P167 小ギク電照栽培での開花揃いが優れる8月作型品種
○吉屋康太・市毛秀則 (茨城農総セ園研)
- P168 寒冷地の冬季キク類栽培における炭酸ガス施用効果
○足立陽子¹・佐々木厚¹・津田花愛² (¹宮城農園総研,²宮城大崎農改善セ)
- P169 閉鎖型育苗におけるLED照射がエラータム系デルフィニウムの生育に及ぼす影響
○岡元秀之・中村広・森高久美 (宮崎県総合農業試験場)

利 用

- P170 カンキツ果実におけるフラボノイド生合成に関わるカルコンシンターゼ遺伝子の発現および機能解析
○光川早紀¹・馬剛^{1,2}・張嵐翠²・八幡昌紀^{1,2}・加藤雅也^{1,2} (¹静岡大院総合科学技術研究科,²静岡大農学部)
- P171 カンキツ果実におけるフラボノイド代謝分解に関わるβ-グルコシダーゼの酵素学的性質および遺伝子の発現解析
○中川佳音¹・馬剛^{1,2}・張嵐翠²・八幡昌紀^{1,2}・島田武彦³・藤井浩^{2,3}・遠藤朋子³・加藤雅也^{1,2}
(¹静岡大院総合科学技術研究科,²静岡大農学部,³農研機構果茶研)
- P172 Effects of polyethylene wrapping on carotenoid accumulation in granulated 'Harumi' fruit during storage
○鄧志偉¹・馬剛²・張嵐翠²・倉田大輝²・野中圭介³・瀧下文孝³・加藤雅也²
(¹岐阜大院連合農学研究科,²静岡大農学部,³農研機構果茶研)
- P173 Effects of 5-aminolevulinic acid (ALA) on flavonoid and anthocyanin accumulation in blood orange juice sacs in vitro
○蘇琳¹・馬剛^{1,2}・張嵐翠²・鄧志偉²・八幡昌紀^{1,2}・加藤雅也^{1,2} (¹静岡大学総合科学技術研究科,²静岡大農学部)
- P174 貯蔵温度が「せとか」果汁中の香氣成分に及ぼす影響
○松本光¹・生駒吉識² (¹農研機構果茶研,²農研機構本部)
- P175 無核性カンキツ新品種の早期減酸処理条件の検討
○中野龍平¹・木下有羽¹・小原敬弘²・松下本樹²・西森空²・戸梶裕太²・山崎安津²・小西剛¹・楠見浩二¹・黒澤俊¹・安田実加¹・中崎鉄也¹ (¹京都大院農学研究科,²高知県農技セ)
- P176 透過型光センサ搭載連続選果機を利用したニホンナシの非破壊解析
○鈴木智砂¹・柴崎茜^{1,2}・平山正明³・小林崇哲³・島田智人¹
(¹埼玉農技研セ,²埼玉さいたま農振セ,³三井金属計測機工(株))
- P177 溶質モモ「川中島白桃」の軟化過程における官能特性の変化と「食べ頃感」の客観化
○大須賀玲¹・早川文代¹・中野優子¹・風見由香利¹・望月寛子¹・田中福代²・立木美保³
(¹農研機構食品研,²農研機構分析研,³農研機構果茶研)
- P178 テクスチャーアナライザーを用いた硬肉モモの食感差異の解析
○近藤辰哉¹・中野優子²・早川文代²・河野淳¹・八重垣英明¹・立木美保¹ (¹農研機構果樹茶部門,²農研機構食品部門)
- P179 音響振動を利用したモモ「つきあかり」適期収穫基準の検討
○中村美結¹・岡橋卓朗¹・有田慎¹・堀田宗幹² (¹和歌山果樹試かき・もも研,²和歌山経営支援課)

- P180 音響振動法によるカキ‘太秋’の早期軟化の判別
○鈴木哲也¹・新川猛¹・長谷川巧¹・櫻井直樹² (¹岐阜農技セ,²広島大院統合生命科学研究科)
- P181 カキ果実および柿渋由来のカキタンニンの溶解性とゲルろ過分画
○板村裕之¹・鶴永陽子² (¹島根大学,²島根大学人間科学部)
- P182 ピーマン・トウガラシにおける果実表面の微細構造が近紫外励起蛍光特性に及ぼす影響
○竹本哲行^{1,2}・黄梓宸²・斎藤嘉人³・Omwange, Ken Abamba^{2,4}・小長谷圭志⁵・林孝洋²・近藤直²
(¹京都農技セ農林セ,²京都大農学部,³新潟大農学部,⁴米国農務省農業研究局,⁵愛媛大社会共創学部)
- P183 紫外光を用いた抽苔人参判別手法の開発
○川島圭太¹・井川久¹・宮島沙織¹・中西洋介¹・田中彰² (¹北海道総研機構工試,²北海道総研機構食品加工研セ)
- P184 イチゴ果実の破断点前の異なる歪み率における見かけ弾性率との応力の関係
○松本浩平・庄山拓磨・飯嶋直人 (千葉県農林総合研究センター)
- P185 切断破砕および乾燥、加熱によるスイートバジル香気組成の変化
○野口有里紗 (東京農業大学)
- P186 アミノ酸添加による腐植酸資材の相乗的バイオスティミュラント効果
○伊藤弘樹・飯野藤樹・増田隆仁 (デンカ (株))
- P187 アルカリ条件下における植物の鉄欠乏を改善する腐植資材
○高橋真智子¹・日下龍一朗¹・伊藤弘樹²・本田一馬²・増田隆仁^{1,2} (¹デンカアヅミン株式会社,²デンカ株式会社)